



浦幌町長  
みずさわ 水澤 一廣

明けましておめでとうございます。  
輝かしい希望に満ちた新年をご家族の皆さまとお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は久しぶりに大きな天災がなかった年でしたが、年明け早々からの新型コロナウイルス感染拡大と世界ではアメリカ大統領選挙がほぼ二コースを独占していました。

日本では9月に安倍総理大臣が退任し、官房長官時代に新たな元号である「令和」を発表して、令和おしさんと愛称で呼ばれた菅官房長官が第99代内閣総理大臣に就任しました。

官房長官と総理大臣では立場がかなり違つて思いますが、新型コロナウィルス感染症の止まることを知らない感染者の増加で日本中が不安と緊張感がある中で、感染症対策と経済政策の両面作戦が成立するの、またアメリカ大統領の交代、韓国・北朝鮮・中国との関係、イギリスのEUからの離脱問題など世界的な大きな問題が山積しており総理大臣としての判断に注目が集まります。

令和2年の浦幌町の基幹産業を振り返りますと、畑作は天候不順にも左右されず平年並み以上の作柄であり、酪農につきましても順調な出荷量を維持しました。

林業関係も一時価格の落ち込みがあったものの回復傾向を示しており、需要もほぼ安定している状況にあります。

一方で漁業関係は基幹魚種の秋サケ定置網漁業が4年連続の極端な水揚げの減少となり、他魚種についても価格の低迷や不漁で、明暗がはつきり分かれまじした。

商工業では特に飲食関係が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、3密を避けるということからお客さんの足が遠のき厳しい環境となりました。

新型コロナウイルス感染症については1月末に道内旅行中の中国人で40代の女性が新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があったのを始めとして、横浜港に入港したタイヤモンドプリンセス号の乗船者に大型の集団感染（クラスター）が発生し、世界でも大流行（パンデミック）になりました。

北海道知事が「北海道緊急事態宣言」を発すると、国も追いかけるように東京都と6府県に「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」を発せざるを得ない状況になり、その後の全国規模での感染症対策も効果がなかなか現れず現在に至っており、東京オリンピックも開催が1年延期となるなど、全国規模の行事が中止、延期となりましたが、十勝管内でも複数の集団感染（クラスター）が発生し、感染者が増加する中で浦幌町の最大のイベントである「ふるさとのみり祭り」も中止の判断を下さなければなりません。

消防団出初式、新年交礼会も中止とし、職員にも札幌圏への出張の自粛や感染防止策の徹底を図っています。

人々の往来が自粛される中で、経済活動も制限され多くの産業に深刻なダメージが持たされたため、国は緊急経済対策で国民1人当たり10万円を給付しましたが、

## 町民目線の町政執行を

浦幌町も「新型コロナウイルス対策本部会議」を立ち上げ、逼迫していたマスコを全町民に1か月相当分を配布する事業やテイクアウトクーポン券を2回発行し、プレミアム商品券の第1弾、第2弾、緊急対策資金融資利子補給事業、商工業緊急支援給付金と事業継続支援給付、水産業緊急支援給付金などなど各種の助成事業を行い町内の経済対策を行ってきました。

小さな自治体の経済は消費活動を控えることとくに影響が出てきました。しかし、浦幌町は観光地のように人で混雑するという地域ではありませんので、買い物は身近な商店で素早く済ませていただく事もウィズコロナ時の知恵の1つではないでしょうか。

フクチンの開発が進み、アメリカのファイザー社が開発したフクチンがヨーロッパとアメリカで昨年12月中に接種が開始されたとの報道がありました。日本に向けても6千万人分のフクチンが供給され、今後接種に向けて申請される計画があるそうです。これは朗報ですが、日本で認可承認され接種に至るまでにはクリアしなければならない点は多々あるのではないかと思いますが、副作用のないフクチンが早急に接種可能になり、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが終息して、人々が自由に伸びやかな生活をするのが早く出来る事を望みたいものです。

今年はいく多くの町民の皆さんからの要望があった「認定こども園」の建設が進んでおり、4月から新築された園舎に子供たちが通園する姿を見ることが出来ます。また、「浦幌町第3期まちづくり計画」

は令和2年度が最終年度となる事から、令和元年に「浦幌町総合計画策定委員会」を立ち上げて、新たな基本構想、基本計画、実施計画からなる第4期まちづくり計画の策定を進めてきましたが、「浦幌町総合振興計画審議会」へ諮問させていただきました。適正との答申をいただきましたので、昨年の第4回定例議会に上程して可決をいただきました。

これからの10年間を進めていく浦幌町の最上位計画であり指針となります。今、浦幌町には「さらなるスタイル」に共鳴した都会の若手社員達を始めとして多様な人材が浦幌町をフィールドに地域活性化や産業の活性化、起業創業に町民の皆さんとフクフクする関係を築きながら真剣に取り組んでいますし、成果を挙げつつあります。

コロナで大都市のリスクが顕著になりました。これからはテレワークなどで田舎の快適さ、過ごし易さが求められる時代になります。この流れを大事にしたなら、浦幌町で育ち町に愛着を持ち続ける子供たちが住み続けられる町を目指してまいります。新型コロナウイルス感染拡大はまだ続いていきますし、冬季節は感染リスクが高いと言われていますので、新年もさらにマスクなどの感染防止対策を堅守していく必要があります。

町民の皆様と共にウィズコロナの時を乗り越え、終息後のアフターコロナ時代が浦幌町にとりまして輝かしい時としたいものです。

年頭に当たりまして、これまで同様に町民目線の町政執行を心がけていくことをお誓い申し上げますとともに、今年が浦幌町にとって災害のない1年で、豊作豊漁のより良い年であること、町民の皆様がますますの隆盛と健康、そして多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。



浦幌町議会議長  
ひろくに  
田村 寛邦

新年明けましておめでとごいさいます。心からお喜びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスが猛威を振るい、わが町最大のイベントである「うらぼろふるさとのみり祭り」が中止となり、わが国日本で開催予定でありました東京オリンピックが延期されるという大変残念な事態となりました。世界的にも、アメリカ、ヨーロッパ、ブラジルなど地球規模での感染拡大が連日報道され、その後国内においても全国の感染者数が約15万人に達し、2千人を超える方が亡くなったという状況であり、大変残念な思いに心を痛めております。また、国内では「鳥インフルエンザ」により異例となる自衛隊への災害出動が要請されたと報道されており、こちらも気がかりであります。

さらに、地球温暖化に起因するとされる異常気象により、世界各地での大洪水や大規模森林火災が発生しております。国内では、九州地方を直撃する台風などにより死亡者を伴う大きな被害を受けたところでありますが、北海道として十勝ではそのような自然災害の発生もなく、穏やかな1年であったと安堵しておりますが、コロナウイルス、自然災害共にお亡くなりになられた方、そしてそのご家族の皆様には心からのお悔やみを申し上げます。コロナウイルス感染症は、この十勝で

も年末に向かいクラスターが発生し、町民の皆様には身近に感染の脅威が迫る不安を感じ、感染を回避するための対策に追われている毎日であるかと推察しており、町内の商工業に従事されている方々を始め、生産加工の現場に置かれましても同様に、様々な分野で経済的そして精神的な打撃を受ける事態になっていると強く感じております。

この1年は、全てが自粛という名の制限を強いられた大変な1年でありましたが、皆様のご努力とご協力により、町民での感染者の発生はなく、その意味では無事に過ごせたことに感謝を申し上げます。さて、本町の主要基幹産業、ま

ず農業は、豊作と言える状況であったように思いますが、コロナウイルス禍による外食産業の低迷の煽りを受け、畜産の個体販売の価格低迷や豆類の価格低迷が起きてしまい、既に十勝における農業粗生産額が昨年に続き3千億円突破の情報もありましたが、一言で昨年の様な笑顔の状況であったのだらうかと憂慮しているところであります。

水産業は、ここ数年大変厳しい状況が続いている中、鮭やシシャモは過去最低であった昨年をさらに下回る漁獲であり、益々厳しい状況であるとお伺いしているところであります。海水温の上昇、海流の変化、外国船による資源の乱獲などこれまでも、その原因について様々なお話がありますが、早くその究明を願うものであります。

林業は、状況が好転する機会もなく、こちらもコロナウイルスの影響により流通が低迷し、その結果厳しい現状に置か

## 五穀豊穡豊漁災害のない年に

れているとお聞きしているところであります。一昨年発足しました地域の林業者と都市部の企業人が起業された会社も一定の業績の中で活動しているとお聞きしており、今後この林業と自然環境を都市部と共有し交流を推進することで、まちづくりの糧として更なる活躍を念じ、ご期待を申し上げます。

商工業は、コロナウイルスの直接の影響を受けたものと感じており、大変厳しい状況が続いているものと考えております。言葉の選択に苦慮するところではありますが、テイクアウトクーポン券やプレミアム商品券などの対応により最低限の消費活動を担保することができたのではないかと感じておりますが、依然として感染状況は拡大傾向にあると推察されることから、今後とも町民皆様の町内消費行動への深く温かいご理解を賜りますようお願い申し上げます。

私たち議会は、議会の活性化を進めていく中で、この間、町民の皆様のご協力とご支援により様々な事業に取り組んできたところではありましたが、コロナウイルス感染予防の観点から、昨年は「カフエD.E.議会」などの一部事業を自粛させていただきました。議会といたしましては、苦渋の決断であり、ご参加をいただいていた町民の皆様には誠に申し訳なく思っております。また、例年1月から2月にかけて行っていた、「議会報告会」、「一般会議」などの諸行事につきましても、本年については、

感染状況などを十分に踏まえながら実施の判断をさせていただき、追ってポスター、ホームページなどでお知らせさせていただきます。また、追ってポスター、ホームページなどでお知らせさせていただきます。また、追ってポスター、ホームページなどでお知らせさせていただきます。

許し願いたいと存じます。

昨年、本町の今後10年間の新たなまちづくりの方向性を示す最上位計画である「第4期浦幌町まちづくり計画」が策定されました。議会では審査特別委員会を設置し、3日間に渡って審議を行い、第4回定例会にて議決をさせていただきましたところであります。長期にわたり計画策定に関わっていただきました多くの町民の方々、総合振興計画審議会委員の皆様、そして町理事者及び町職員の皆様には、そのご苦労とご尽力に深く敬意を表したいと思っております。

浦幌で生まれ育ち、浦幌で暮らし、また、ご縁により浦幌に関わりを持った方々が私たちのまちに愛情と誇りを持って、これからの浦幌を創り上げる力、強い想いをつないで浦幌の未来に邁進する計画になっているものと信じております。

結びになりますが、終息の見えないコロナウイルスにもどかしさとともに怒りすら感じているのが正直なところではあります。最大の予防と健康管理に努めていただきまして、併せて冬季間の交通事故には十分留意されますようお願いを申し上げます。

今年の干支は辛丑です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ（芽が出る）」というよつよつな年になるといわれています。コロナに耐え、そして新たな芽がでる年になると信じたい、そう願いたいと思うばかりであります。令和3年が町民の皆様にとってご健勝、ご多幸でありますこと、五穀豊穡豊漁、そして災害のない年でありませう、皆様と共にご祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。